



**JJA  
JEWELLERY  
DESIGN  
AWARDS  
2014**



## 日本ジュエリーの最高峰を求めて JJA ジュエリーデザインアワード2014

時を超え人々の心を魅了してやまないジュエリーの数々。

ジュエリーは、創作する人の感性と装う人の感性が結びつき響き合うことによって生まれるアートと言えます。

真に美しい作品は国境を越え、人々の心に共感と感動を呼び起こします。欧米に比べ、ジュエリーの歴史が短いにも関わらず高い技術力・デザイン力を誇る我が国。固有の美しい文化と伝統を背景に未来を見つめた新しいジュエリーを求めていかなければなりません。

“JJA ジュエリーデザインアワード”は、日本ジュエリー文化の高揚を目的に「世界へ発信できる日本ジュエリーの最高峰を求めて」をテーマに毎年開催されています。

JJA ジュエリーデザインアワードでは、第1部門“プロフェッショナル部門”を、プロフェッショナルにふさわしく、時代をリードするデザイン・技術・品質を兼ね備えたジュエリーとし、第2部門“テーマ部門”では、テーマ規定に沿って、独創性豊かなデザイン、技術で表現されているジュエリーとしています。今年度は、当協会主催の“JJA ジュエリーつながり愛キャンペーン”に連動し、「つながり愛」をテーマとし、【恋人、夫婦、家族、友人等の「絆」の証としてのジュエリー】で、デザイナー独自の視点から自由な発想と独自性があるジュエリーとしています。

また、第3部門“新人部門”では、新人・学生を対象に自由な発想を持った既成の概念を打ち破る新しい大胆な発想のジュエリーと位置づけています。

JJA ジュエリーデザインアワードは、未来のジュエリー業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの優れた作品を発信する場として、世界に向けた日本のジュエリー文化のさらなる発展を求め続けます。

会期／会場 ○2014年8月26日～8月28日  
ジャパングジュエリーフェア2014 (JFF 2014)  
東京ビッグサイト 東2・3ホール  
アワード入賞作品展示会場

[展示作品]  
特別賞含む全入賞作品

○2014年9月3日～9月9日  
ミキモト本店・6階ミキモトホール

[展示作品]  
特別賞含む全入賞作品

○2014年9月17日～9月21日  
香港ジュエリー&ジュエルフエア  
香港コンベンションアンドエキシビジョンセンター  
ホール3 JJA 広報ブース

[展示作品]  
日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞、厚生労働大臣賞、  
東京都知事賞、日本ジュエリー協会会長賞及び新人大賞の  
5作品

○2014年9月27日～10月13日  
山梨ジュエリーミュージアム  
企画展示室

[展示作品]  
特別賞含む全入賞作品

主催  
後援 一般社団法人日本ジュエリー協会  
経済産業省  
厚生労働省  
東京都

協賛 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会  
一般社団法人日本真珠振興会  
プラチナ・ギルド・インターナショナル

**JJA  
JEWELLERY  
DESIGN  
AWARDS  
2014**



## ご挨拶



一般社団法人日本ジュエリー協会  
会長

丸山 朝  
Mariyama Hayashi

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最高峰のジュエリーコンテストを目指し経済産業省・厚生労働省・東京都のご後援のもと毎年「JJA ジュエリーデザインアワード」を開催しております。このアワードは当初（第一回 1989年）より数えますと25年となり極めて歴史ある大会となっております。このコンセプトはジュエリーデザインのみならず製作技術を発信する場でもありました、将来の業界を担う新人発掘の場でもあります。毎年のことですがこの開催がわが国のジュエリー文化の更なる高揚に寄与していると考えております。

今年度は第一部門「プロフェッショナル部門」第二部門「テーマ部門“つながり愛”」第三部門「新人部門」と昨年同様の対象部門と致しましたが、全国から多数の応募をいただき、皆様に御礼を申し上げるとともに、昨年にも増しての創作息吹を感じております。

この作品の中から厳正なる審査のもと「日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞」「厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「日本ジュエリー協会会長賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。特に本年度は意欲的な作品が多く、また昨年よりレベルがかなり上がっていることもあり、審査員諸氏から選考に大

変苦勞した旨お聞きいたしております。このように高レベルの作品同士競い合うことが将来日本のジュエリー業界レベルアップへ大きく寄与するものと感じております。

入賞作品の表彰は、本年8月東京ビッグサイトにて行われます「ジャパンジュエリーフェア 2014（2014年8月26日～28日）」の初日（26日）に行われ、加えて会期中展示されます。またそれ以降東京（9月3日～9日予定）香港ジュエリー・ジュムフェア（9月17日～21日予定）山梨ジュエリーミュージアム（9月27日～10月13日予定）にての作品展示をさせていただく予定です。この展示によりすばらしい作品を多くの皆様にご覧になっていただき、来年以降の「JJA ジュエリーデザインアワード」のより一層のステップとなればと感じております。

今回のジュエリーデザインアワードは極めて充実したアワードとなりました。本協会と致しましては今後も本アワードのレベルアップを図りわが国のジュエリー業界の発展のために最大限寄与してまいりたいと考えております。

最後にこのアワード開催に関係された皆様に厚く御礼申し上げるとともに引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

## 審査員講評



東京藝術大学 教授  
工芸科彫金  
飯野一朗  
Ino Ichiro

世相を反映して応募点数の一番少なかった2012年に比べ去年、今年と年々増加しており出品者の意気込みが感じられます。

プロフェッショナル部門、テーマ部門の上位4賞と新人大賞は総意のもと順調に決定しました。大賞を受賞した「帆走するスクエア」は「シンプルなリングを」と自ら命題を課し、さらにひとひねりを加えた完成度の高い作品で装着時もさまざまな情景を思い起こさせます。東京都知事賞は銀によるボディージュエリー、水引をヒントに「つながり愛」のテーマを充分表現しています。又、地味な作業ですが先端の1本1本をていねいに仕上げています。新人大賞のネックレスは線材の先を溶かして玉にし、丹念に組み合わせる事によって豊かな表情を演出しています。技術賞となったシルバーのリングは非常に難しい作業にもかかわらずバランス良く見事なフォルムを見せています。

それぞれ個性溢れる作品が展開されていますが公募展の主旨のもとさらなる飛躍を期待します。



ファッションデザイナー  
コシノジュンコ  
Koshino Junko

今回の審査を終え、独創的な感性でデザインされたものは勿論、それだけではなく、高度な日本の技術による新たな価値を持った日本のジュエリーを世界にアピールしていく事が、今後のJJAのテーマになるのではという事を感じました。

ジュエリーは単体での主張だけでなく、現代のファッション感覚にも寄り添う事が求められます。ある時は主役、ある時はドレスの引き立て役。どちらにせよ、身につける事によりその人の美しさがさらに増し、かつ快適なものでなければなりません。存在感はあるのに全体的にバランス良く見える、いかに軽くするかも技術です。

今回のテーマ、『つながり愛』。

絆、親と子、人と人、日本から世界につながっていく様なイメージの素敵なコンセプトです。

今後、例えば日本独自のエッセンスをコンテンポラリーデザインに昇華させたものなど、ジュエリー界の既定概念をい意味で覆す思い切った革命を期待しています。



雑誌「JEWEL」編集長  
藤井小百合  
Fujii Sayuri

ジュエリー産業界が、バブル当時の三分の一になったこともあって、業界自体が保守的になっていることは承知の上でしたが、ここまで元気がなくなってしまっていたことに肩を落とした審査会でした。正直日本にはもっと力があるはずなのに、アワードに活気がないのが残念です。企業の経済的事情でアワードどころではないのかも知れませんが、やはり競争は必要です。毎年が厳しいようであれば隔年で応募されるのはどうでしょう。

審査前日、「指輪展」の内覧会に出掛けました。小さなジュエリーは様々なことを語ります。私が今回最もJJAアワードにふさわしいと思った作品は、厚労大臣賞の「樹水」と、佳作の「天空の神秘」でした。どちらもありがちなモチーフですが、宝石のバランスの良さと装着した時の美しさに心動かされました。最後に、このアワードが求めるのは、アートつまり芸術作品ではありません。作品の延長線上にあるプロダクトへの展開も問われます。



ジュエリーデザイナー  
松田充弘  
Matsuda Mitsuhiro

ジュエリーデザインアワードとなった2004年以来二度目の審査をさせて頂きました。応募数は減少したものの、中には高い商品力を兼ね備えた作品の存在がデザインの着実な進歩を感じさせてくれます。

ジュエリーには、それぞれのアイテムごとのシチュエーションによる役割があると思います。手の動きにアクセントを作るリング、正面から人を表現するネックレス、ごく近い距離で魅せられるイヤリング、ピアス。ブローチは洋服と相俟って、その人そのものを決定づける位の力を持っています。

ジュエリーは人が身につけるものであり、あくまでも人が主役であるべきものです。このコンテストのポジションはそんな所であって欲しいと考えています。

毎回、ジュエリーデザインアワードの受賞作品の中からヒット商品が生まれる……そんなアワードになって行くことを期待してやみません。



専門学校ヒコ・みづの  
ジュエリーカレッジ  
学校長

水野倫理  
Mizuno rinri

今回は JJA アワードの審査に参加させていただき応募作品のデザイン、作りのレベルの高さを実感させていただきました。特に注目しましたのが、3部門の新人作品です。新人部門とあるだけに、これからの日本発の独創的でユニークな作品を楽しみにしておりましたが、受賞作品はもちろんのこと、応募作品全体にその気概を感じることができました。私は専門学校としてジュエリー業界で活躍する「作り手」を養成してきておりますが、若者が将来の「消費者」としてだけでなくデザイナー、製作者として「ジュエリー」に興味を持ってくれるようになることが大切だと思っています。それには、若い世代がジュエリーを身近に感じられる社会・文化の環境、そしてすぐれた作品を目にする機会が必要であります。海外でも審査の経験をしたことが、「日本的な繊細な作りこみ」と「海外でも評価される日本的な感性・感覚」を磨けば日本の若者が活躍できるチャンスはこれからも十分にあると思っています。JJA アワードがぜひこのきっかけになってくれることを期待いたします。



ジュエリークラフトマン  
吉澤一男  
Yoshizawa Kazuo

JJA ジュエリーデザインアワード 2014 の応募作品の審査にあたり、技術関連では、先ず装身具であることを前提に審査をしました。

基本である宝飾技術とその品質、デザインの意図を十分に理解し、その表現にふさわしい技法の選択など……技術とデザイン・バランスと完成度を意識して審査しました。

第一部門技術賞では、冒頭に述べた基本である技術力と表現力のバランス・完成度を評価しました。単に加工技術だけでなく、石留めや研磨仕上げなど、メイキングにおいても基本的な技術とその美しさ、当たり前である仕事を評価しました。

第二部門技術賞では、技術に裏付けされた造形の表現力やデザインとのバランス感覚の美しさについて評価しました。

しかしながら、全体的な技術関連での評価では、レベルが低く感じられる作品も多く作り手不足の厳しい状況が感じられました。

審査を終えて 10 年後 20 年後を考えますと、世界に通じる作り手の育成について、業界全体で支援していただくように期待したいと思います。

## 審査員一覧 (審査員長以下 50 音順)

審査員長 飯野 一朗 東京藝術大学 教授 工芸科彫金

審査員 コシノジュンコ ファッションデザイナー

藤井 小百合 雑誌「JEWEL」編集長

松田 充弘 ジュエリーデザイナー

水野 倫理 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 学校長

吉澤 一男 ジュエリークラフトマン

特別賞選定員 木下 章 一般社団法人日本真珠振興会 参与

菅沼 知行 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 会長

ハンキンソン尚子 プラチナ・ギルド・インターナショナル 代表取締役社長

### 応募作品・点数

第1部門	プロフェッショナル部門	36 作品	52 点
第2部門	テーマ部門「つながり愛」	37 作品	59 点
第3部門	新人部門	47 作品	78 点
	合計	120 作品	189 点

入賞作品 38 作品 71 点



日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞  
厚生労働大臣賞  
東京都知事賞  
日本ジュエリー協会会長賞

## 日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞



市川治之 デザイナー  
*Ichikawa Haruyuki*

[製作者] 島津浩明

[応募者] 株式会社 サイキ宝飾

[E-mail] info@cyci.co.jp

### 「Sailing Square」

“平面から立体へ”をテーマに一枚の正方形からリングとペンダントを『折る、曲げるという単純な加工のみで作る』と云う命題でスタート。結果、板中央のリング部分はプラチナで、周りのペンダント部分はホワイトゴールドで制作。又、ホーニングと鏡面を使い分けることで前後の距離感をより極立たせるように工夫しました。

1993年 PJC H.Hayashi Award First Prize 受賞  
Platinum Design of the Year '94 受賞

1994年 JDA THE Best Display Designer Award 受賞

2013年 山梨ジュエリーミュージアム開館記念作品制作

リング・ペンダントセット/Pt900・K18WG/ダイヤモンド



## 厚生労働大臣賞



笹瀬嘉子 デザイナー  
Sasase Yoshiko

[製作者/応募者] 株式会社 エヌジェー

### 「氷の華〈rime on trees・樹氷〉」

樹氷・木々は輝きに包まれて。光と冷えた空気の中、震えるような樹氷のきらめきを表現しました。樹氷は微少な水滴が、木の枝などについてただちに凍ってできた 白くもろい氷、氷の花とも言われます。

自然の美しさへの憧れと想いをこめて。

愛知県生まれ

ヒコ・みずの宝石専門学校卒業

1985年 “GOLD IN FASHION 85” 入賞

2008年 Forevermark Design Award

グランプリ・特別賞受賞



リング・イヤリングセット/Pt900/ダイヤモンド

## 東京都知事賞



清水政紀 デザイナー/製作者  
Shimizu Masaki

[応募者] 清水デザイン

[E-mail] shimikun@icloud.com

### 「おもいおもい (つながり愛)」

日本には古くから「寄物陳思」と言われる、物やかたちに思いを寄せて気持ちを伝える文化があります。テーマの「つながり愛」に基づき、人々の気持ちを遠く飛鳥時代より伝えてきた水引をモチーフに制作しました。長い尾は流れ星をイメージし、皆の思いと思いがつながり合いより良い世界になるよう願いを込め制作しました。

1987年 東京生まれ  
2011年 多摩美術大学卒業  
2012年 JJA ジュエリーデザインアワード2012入選



ネックレス/Ag925

## 日本ジュエリー協会会長賞



吉田園子 デザイナー  
Yoshida Sonoko

[製作者/応募者] 栄光時計 株式会社

### 「和合」

真珠は基地（ホーム）であり、それぞれが心を広げて愛ある夢を広げて手をつないでのびていけるように！の意を表現しました。

1970年 東京家政大学服美美術科卒業

1985年 GIA・GG

2003～2007年 JJAジュエリーデザインアワード入選・佳作

2009～2011年 JJAジュエリーデザインアワード入選



ネックレス・ピアスセット/K18WG/ダイヤモンド/アコヤ真珠



## 第 1 部門

プロフェッショナル部門



## 優秀賞



菅野早紀 デザイナー  
Kanno Saki

[製作者] 橋本直季

[応募者] 株式会社 桑山

### 「PEACOCK」

孔雀が羽を広げようとしている瞬間の美しさを表現しました。首から胸元にかけて流れるグラデーションラインは、デコルテを華やかに見せてくれます。メッシュ部分は、細い線の重なりで羽の軽さと繊細さを表現しました。装着すると尾羽の部分は微妙に揺れ、ダイヤが一層輝きます。

1986年 東京生まれ  
2011年 武蔵野美術大学卒業  
第4回宇和島パールデザインコンテスト 入選  
ワールドジュエリーデザイン大賞 入選  
2012年 ヒコみづのジュエリーカレッジ卒業  
株式会社 桑山入社



ネックレス/Pt950・K18 (PG・YG)/ダイヤモンド

## 佳作



リング/Pt950/ダイヤモンド

猪股 学 デザイナー

Inomata Manabu

[製作者/応募者] 株式会社 石友

「FRACTAL」

自然界に数多く存在する自己相似形状-フラクタル構造。無機質なフォルムと有機的なラインによって、自然界から得た知恵を表現しています。一切の誤魔化しができない形状で、硬度の高いKoo-fu950の加工には高い技術が求められます。見つめていると“引き込まれそうになる感覚”を見る人に味わってもらいたいと思います。

## 佳作

日本ジュエリーデザイナー協会会長賞



ブローチ/K18WG/トパーズ/サファイア・ダイヤモンド/(七宝)

巽 規子 デザイナー

Tatsumi Noriko

[製作者/応募者]

株式会社 ミキモト装身具

[E-mail] tatsumi@mikimoto-jf.co.jp

「天空の神秘」

幻想的なオーロラの光に包まれた北極の海に浮かぶ氷山をブローチにしました。果てしなく続く空と海をイメージしたフォルムに敷き詰めたのは全て無色透明の石。氷山をイメージした様々な形状の石を隙間なく留め、七宝の色彩が映り込む効果を意図しました。光に透かすとより一層色鮮やかなグラデーションが浮かび上がります。

入選  
技術賞



ネックレス・ピアスセット/K18WG/ダイヤモンド

小寺智子 デザイナー

Kodera Tomoko

[製作者] ニューコーゲイ 株式会社

[応募者] 株式会社 柏圭

「Il pleut イルプル  
—雨が降っている—」

5月の雨は青葉をいっそうつややかにする。風に吹かれた雫がキラキラと飛び散っている情景を表現しました。

入選  
日本真珠振興会会長賞



ブローチ/K18WG/ダイヤモンド/シロチョウ真珠

古屋 勇 デザイナー

Furuya Isamu

[製作者] 長田司朗

[応募者] 株式会社 クロスフォー

「Light of Happiness」

真珠は「あなた」 ダンシングストーンは「幸せの光」。愛情のリボンで幸せを束ねました。私の気持ちが届きますように。

入選

プラチナ・ギルド・インターナショナル賞



ティアラ/Pt900/ダイヤモンド/サファイア・水晶

志津野友紀 デザイナー

Shizuno Yuki

[製作者/応募者] シチズン宝飾 株式会社

「冬の黎明」

冬の早朝にみた一面の銀世界。

「自然が創り出す形の美しさ」から受けた感銘をティアラで表現しました。

## 入選



ネックレス/K18WG・K18/ラピスラズリ・トルコ石・水晶・オパール・白蝶貝/ダイヤモンド・ルビー

内田千奈美 デザイナー

Uchida Chinami

【製作者】 丹澤昌二

【応募者】 株式会社 近藤宝飾

「国蝶 オオムラサキ」

自然界の宝石……国蝶オオムラサキの羽ばたく風景を象嵌技法によるリアルさと立体的な組み立てで表現しました。



ネックレス/K18/ダイヤモンド/(七宝)

簗和田幸恵 デザイナー

Minowada Yukie

【製作者】 簗和田 元

【応募者】 ミノワダジュエリークラフト

【E-mail】 info@minowada.net

「鷹と紅葉」

四季の移ろいを感じさせる紅葉が色づいていく様子と躍動感ある鷹の力強さを、色鮮やかな七宝を使い表現しました。



イヤリング/K18WG/ダイヤモンド/羽根

石 有里 デザイナー/応募者

Ishi Yuri

【製作者】 松川 覚

【E-mail】 atelierlirio@gmail.com

「つけまつげ」

グロテスクと美を併せ持つ付け睫毛。異素材との融合で造形美を強調しました。羽根は取り外し可能です。



ピアス/Pt950・Pt900・K18PG/ダイヤモンド/アメシスト

小田光貴 デザイナー

Oda Hiroki

【製作者】 有限会社 アトリエG.S.P.

【応募者】 株式会社 桑山

「雫 shizuku」

氷から雫へと姿を変える一瞬の輝きを緊張感のある石留めや、繊細な構造によって表現したイヤリングです。

## 入選



リング/K18・Pt900/アメトリン/ダイヤモンド

木戸和貴 デザイナー／製作者  
*Kido Kazuki*

[応募者] 有限会社 洗谷貴宝

「蜜」

アメトリンを支える枠の内側を鏡面仕上げにし、光の反射で石がより魅力的に輝く様に製作しました。



## 第 2 部門

テーマ部門「つながり愛」



## 優秀賞



山田美代子

Yamada Miyoko

### 「kiss」

2匹の魚（の骨）がkissをしてからみ合っている様を表現しています。通常2つを重ねて使用しますが、鏡面仕上げの方は男性用。パベ仕上げの方は女性用として個別にも使用できるようになっています。しかし、2つが重なった時は必ず傷が付きます。が……そこは「愛は傷つきやすく」と言う事で……。

- 1996年 スタジオ・ハンズ・コウダ 神田宏氏に師事  
フレッシュマン・ジュエリー・デザイン・コンテスト  
優秀賞
- 1997年 スタジオ・ハンズ・コウダ 神田宏氏に師事  
フレッシュマン・ジュエリー・デザイン・コンテスト  
デザイン画入選
- 1999年 J・NWS国際ジュエリーデザインコンペティション  
奨励賞
- 2004年 JJDA40周年記念デザイン画公募  
日本ジュエリーデザインコンペティション入選
- 2008年 パールジュエリーデザインコンテスト入選
- 2014年 宇和島パールデザインコンテスト入選  
日本ジュエリーアート展入選



リング/Ag950

## 佳作 技術賞



リングシリーズ/Silver

田中紀久

Tanaka Norihisa

えにし  
「縁」

葉をイメージして色々な形の板を重ね合わせ、それらがつながることで新たな形に形成されていきました。これは一人一人が重なりつながることで縁となり、一つのコミュニティとなっていく。またそのコミュニティがつながっていくことで、大きな輪になっていきます。この思いを形にし、表現してみました。

## 佳作



リング/K18WG/アメシスト/ダイヤモンド

藤森 隆 デザイナー

Fujimori Takashi

〔製作者〕 相馬試治

〔応募者〕 オーダーメイドジュエリー ADAM

〔E-mail〕 info@adam.co.jp

〔カレッジリング(Master of Project Design)〕

メンズアイテム寄り、ハードなテストが多いカレッジリングのイメージを刷新する、新しいスタイルのカレッジリングの提案です。

構造的なフォルムに留められた、透明度が変化する石の中に学校名がさりげなく浮かび上がり、卒業して飛び出した仲間のそれぞれの未来を、切り口が輝いているリングアームで表現しました。

## 入選



ネックレス・リングセット/Silver/ダイヤモンド

三島一能

Mishima Itto

「シロツメクサ」

「シロツメクサの環」をモチーフに、素朴で純粋な愛のイメージをネックレス、リングとして表現しました。



バングル/Silver

清水範康 デザイナー/製作者

Shimizu Noriyasu

[応募者] 株式会社 ヤスエイAFFLUX

「連星 binary star」

同じ距離を保ちつつ、離れていても繋がり合う連星をイメージして制作しました。



ネックレス/Ag950・K18/淡水真珠

佐藤恭子

Sato Kyoko

「おへそ」

おへそを飾るジュエリー。父、母、子、つなぐ臍帯、真珠は内包する未来。改めて考える家族のつながり。



ペンダント\*ブローチ/K18・K18WG/サファイア/オパール・ダイヤモンド/(エナメル)

中村孝則 デザイナー/製作者

Nakamura Takanori

[応募者] 中村宝飾工芸

「絆、愛の花園。」

階段を登ると、いくつもの重なる輪により絆を。慈愛、友愛、の意味をもつ宝石を使い、花と蝶蜂で楽しい世界を表現しました。

## 入選



リングシリーズ/Ag925/(金箔)

元橋千里

Motohashi Chisato

「いとしい月—moon rise—」  
月に想いを馳せた人間関係を  
テーマに、月の反射で生まれる  
世界観や月面の細部を金銀白の  
三色で表現しました。



リング/K18/ガーネット/ダイヤモンド・パール

吉田麻衣子 デザイナー/製作者  
Yoshida Maiko

〔応募者〕 株式会社 ミキモト装身具

「そして、生まれゆく。」  
感情の生まれる処=日々動めく  
生命体をイメージし、トレンプ  
ランを用いて表現しました。



リング/K18WG/水晶/ダイヤモンド

平田清子 デザイナー

Hirata Sayako

〔製作者〕 株式会社 プレシャスメタルニッコー

〔応募者〕 株式会社 LAIR DE L'ART

「プレゼント」

つながりの始まりは思いを伝える事。それは尊く  
少し難しい。恋人に親に子に友にきっかけはプレ  
ゼントから。



第 3 部門

新人部門



## 新人大賞



水谷奈央

Mizutani Nao

[E-mail] naoqp7@gmail.com

### 「幸せの結晶」

ジュエリーは身につける人に勇気や自信を与え、幸せを運んでくれます。女性の繊細な心とジュエリーのもつ繊細さを重ね合わせ制作しました。このような賞を頂きまして大変光栄です。ありがとうございました。

1990年 名古屋生まれ  
2014年 日本ジュエリーアート展 大賞  
安宅賞  
東京藝術大学大学院1年彫金専攻  
在学中



ネックレス・ピアスセット/Silver

## 新人優秀賞



ブローチシリーズ/Silver/(金箔)(銀箔)(七宝)



ブローチシリーズ/Silver



藤森 萌

Fujimori Moe

[E-mail] k.drn.pu1@gmail.com

### 「scene」

空があって、雲が浮かんでいて、木に生い茂る葉の間からその景色が見えている。そこへ風が吹いて雲が流される。  
そんなごく当たり前になりそうな光景、自然の要素が重なり合う場面 (scene) を表現しました。

1991年 兵庫県生まれ  
2013年 日本七宝作家協会展 学生部門 奨励賞  
2014年 神戸芸術工科大学 卒業  
日本ジュエリーアート展 入選



コバヤシワタル

Kobayashi Wataru

[E-mail] gagaga.7188@gmail.com

### 「Stare at」

形とテクスチャーの組み合わせで多様性と賑やかさを作品に求めました。  
形同士が互いに干渉し合い様々な見え方をし、鑿によるテクスチャーで異なる形に関係性と表情を与えました。見詰める程に多様に映る、魅力的なブローチを目指しました。

1991年 佐賀県生まれ  
2014年 神戸芸術工科大学 先端芸術学部 クラフト・美術学科 卒業  
神戸芸術工科大学 大学院 総合アート専攻 在学中

## 新人優秀賞



ブローチシリーズ/Silver



崔 壽現

*Che Suhyon*

[E-mail] [suhyun7351@yahoo.co.jp](mailto:suhyun7351@yahoo.co.jp)

### 「多肉植物による癒しのジュエリー」

ふっくりとした葉がユニークな多肉植物。環境によって不思議な形をしている多肉植物を見ているとどこかぬくもりを感じます。こういった多肉植物の持つ量感と曲線に着目し制作しました。私にとって一番身近な自然でありながら、癒しを与えてくれる多肉植物を造形化しジュエリーを作る事で、これを身につける方にも癒しを与えたいと思います。

1978年 韓国・釜山生まれ

2010年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ研究院コース卒業

2013年 東京藝術大学美術研究科工芸専攻彫金 修士課程修了

2014年 東京藝術大学美術研究科工芸専攻彫金 博士課程在学中

## 入選



ペンダント/Silver/キュービックジルコニア

王 昱茹

*Oh Ikuju*

「風が立つ」

風が吹いていて、タンポポの綿毛が飛んで行く様子の瞬間を記録しました。



チョーカー・ネックレスセット/Ag925・K20・ステンレス

仲道萌恵

*Nakamichi Tomoe*

[E-mail] emotochimikana@gmail.com

「Lattice」

“軽やかに しかし強く 生きること”をテーマに制作しました。日々、柔軟な姿勢で制作してゆきたいです。



ブローチシリーズ/Silver/(エナメル)

橋本 梓

*Hashimoto Azusa*

「Cloud」

空と雲をモチーフとして重ねることで立体感をだし、空の『落ち着き』と雲の『自由』を表現しました。



ーシリーズ/Silver・Cu/フローライト/(黒ロジウム)

田代聖晃

*Tashiro Kiyooki*

[E-mail] xyz.kiyo@gmail.com

「“Source of freedom”」

制作者ではなく装着者がジュエリーの新たな可能性を探っていくるように、私は着想のきっかけを造形に込めました。

## 入選



ブローチ/K20・K18・K15/キュービックジルコニア

長谷川怜央

Hasegawa Reo

「メテオライト」

星空の輝きをつめこんだ隕石が  
わたしのところへ舞いおりた。



リング/K18・K18WG/トルマリン/トパーズ・ガーネット・キュービックジルコニア

岡田理沙

Okada Risa

「interior」

内側にあるモノへ目を向けさせ  
たいため、その内側を装飾する  
ことにしました。



リング/K18/カルセドニー/アメシスト・シトリン・ペリドット・アクアマリン/(UV)

長谷川柚子

Hasegawa Yuko

「Nudibranch」

この作品はウミウシをモチーフ  
に、異なった色石を使う事で華  
やかさを出す様にした作品です。  
本物の形を生かし作りました。



リング/Ag925/合成石/(金めっき)

小枝萌子

Koeda Moeko

「花々の宝物」

植物の生命力の源を石に例えて  
デザインしました。全体の形を  
少し歪にして植物の生命力を表  
現しました。

## 入選



リングシリーズ/Ag925

清水秀則

*Shimizu Hidenori*

[E-mail] [hidenori.shimizu.craft@gmail.com](mailto:hidenori.shimizu.craft@gmail.com)

「表層遊び」

多様に変化する砂の表層がテーマです。銀粉を使い、砂で遊ぶ感覚で模様を作りました。

一般社団法人 日本ジュエリー協会

展示・コンクール部会 デザインアワード委員会

担当副会長 \_\_\_\_\_ 委員長 \_\_\_\_\_

近藤 誠 松井 久子

担当部長 \_\_\_\_\_ 副委員長 \_\_\_\_\_

梶 光夫 横山 裕

委 員 \_\_\_\_\_

坂巻 章雄

高橋 博文

日笠 祐二

山本 真理

編 集 \_\_\_\_\_

一般社団法人 日本ジュエリー協会  
デザインアワード委員会

撮 影 \_\_\_\_\_

Studio A-Vipc

印 刷 \_\_\_\_\_

山口北州印刷株式会社

発行日 \_\_\_\_\_

2014年8月26日

発 行 \_\_\_\_\_

一般社団法人 日本ジュエリー協会  
〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25  
TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599  
<http://www.jja.ne.jp> E-mail: [ja@jja.ne.jp](mailto:ja@jja.ne.jp)

禁無断転載複写



一般社団法人日本ジュエリー協会

